

入園式でのお祝いの言葉で、幼稚園が取り組んでいる「自立」と、合言葉「ありがとう」について、次のようにお話ししました。（一部抜粋です）

・・・

保護者のみなさま、お子様の入園おめでとうございます。お子様の入園を楽しみにしておられたことと存じます。

さて、二番丁幼稚園では、園児が自分でできることは自分でするを自立と捉えて取り組んでいます。

今日からは、お子様ができることはお子様に少しずつ任せて、見守ってほしいと思います。お子様が手助けが必要な時は、最低限の手助けをしていただくことが、お子様の自立につながると思います。

次に、二番丁幼稚園では、子どもたちとの合言葉を「ありがとう」と、決めています。例えば、その理由の一つとして、ありがとうを続けることで、相手を思い、温かい関係ができることを期待しています。保護者のみなさま、これまで以上に「ありがとう」を使っただけだとありがたいです。

よろしくお願いします。

・・・

合言葉について次のように考えています。よろしくお願ひいたします。

二番丁幼稚園の合言葉

二番丁幼稚園では、教職員間でも「ありがとう」の言葉を聞くことが多いです。

もちろん子どもからも「ありがとう」を聞きます。教職員も場面をとらえて、子どもたちに「ありがとう」について、指導をしている場面も見かけます。

当たり前のことかもしれませんが、二番丁幼稚園のよさの一つは、そこになるのかもしれない。

そこで、二番丁幼稚園の合言葉を、「ありがとう」にしたいと考えています。

「ありがとう」を合言葉にすることで、次のようなことを願っています。

- ・ ありがとうを通して、自分自身の心が、ほかほかする。
- ・ ありがとうを通して、相手を思う気持ちがさらに伸びる。
- ・ ありがとうを通して、お互いが温かい関係になれる。
- ・ ありがとうを通して、自分自身がよりプラス思考になる。
- ・ ありがとうを通して、自分の成長を振り返ることが出来る。
- ・ ありがとうを続けることで、クラスの連帯感、幼稚園全体の連帯感が高まり、「自分の幼稚園」という所属感が高まる。
- ・ ありがとうを続けることで、居心地のいい社会を築く一歩になる。

上記のように、前向きな生き方につながると確信しています。